

ひとところのいえ



兵庫県高砂市

家族構成 夫（30代）妻（30代）息子（1歳）
延床面積 105.67㎡（31.96坪）
木造 在来工法 2階建て 1階63.18㎡ 2階42.49㎡
断熱性能 UA値 0.46W/㎡K C値 0.3cm²/㎡
太陽光発電 6.16kW
許容応力度計算耐震等級 3



高砂の土地に根差し、家族が和やかに暮らし続けるための住まい。その構想は、施主の「和の落ち着きと現代の快適さをあわせ持つ家を、この地で実現したい」という願いから始まりました。

私たちが目指したのは、自然素材の美しさと和のしつらえを受け継ぎながら、現代の暮らしに寄り添う上質な和モダン空間です。計画地は間口の狭い細長敷地という制約を抱えていましたが、むしろその形状を活かし、庭・1階・2階が緩やかに連続する構成としました。

中心に据えたのは、『軽井沢の山荘』を思わせる16尺角の居間。ダイニング、畳コーナー、ソファ、書斎といった多様な居場所を抱え込み、南面に大開口を設けることで、光や風、庭の景色を住まいに引き込みました。

さらに奥へとつながる深い軒のデッキは、隣地に残る竜山石の石垣を借景に取り込み、土地の歴史を暮らしの風景へと結び付けています。

居間から庭へ、庭からまちへと視線と心が広がり、2階とは小窓を介して気配が響き合う。そうした設えの積み重ねが、家族の時間をひとつに紡ぎ、日々の暮らしを豊かに彩ります。本計画が示すのは、単なる「家」ではなく、居間を中心に家族・まち・時間が交差する場としての住まい。そこに生まれるのは、暮らし手にとってかけがえのない「ひとところのいえ」です。

